

【理学部第一部応用数学科】

卒業認定・学位授与の方針[ディプロマ・ポリシー]

教育理念、教育目標に沿って編成された授業科目を履修して、所定の単位を修得することにより、以下の素養と実力を身に付けた人材に対して、卒業を認定し、学士（理学）の学位を授与する。

1. 数学を中心とする基礎知識を習得し、数学の応用領域を体系的かつ統合的に理解できる能力。
2. 自然科学のみならず、人文科学、社会科学などの豊かな教養を修得し、専門分野の枠を超えて横断的にものごとを俯瞰できる能力。
3. グローバル化する社会情勢の中で、解決困難な様々な課題に対し、状況を的確に把握・分析して、自らの数学的・論理的思考力によって柔軟に対応し積極的に問題解決を図る能力。
4. 応用数学に基づく幅広い視野から真に豊かな社会の実現に貢献することのできる、豊かな教養と強い倫理観。
5. 社会生活において自己管理を徹底し、応用数学の学問領域を活用し自己のキャリアを形成していく能力。

教育課程編成・実施の方針[カリキュラム・ポリシー]

グローバル化する社会情勢を反映して、求められる人材が多様化していることに対応し、下記の方針でカリキュラムを編成する。

1. 真に実力を身に付けた学生のみを卒業させる「実力主義」の伝統を堅持し、厳格な教育課程を実践する。
2. 数学を中心とする基礎教育と、応用領域を基盤とする最先端の多様な専門教育を行う。これらを体系的かつ統合的に理解でき、幅広い視野で社会に貢献する研究者、技術者、教員などの多様な人材を育成する。
3. 1年次では、応用数学の学修及び研究に必要な基本的知識を獲得するための、基礎的数学及びコンピュータに関する必修科目を設置する。
4. 1年次、2年次の必修科目及び選択必修科目では講義および演習・実習を行い、授業科目を重点的かつ効果的に組み合わせ、専門分野の深化、他の授業科目との関連や学問探究の方法の学習、および人間性の養成、コミュニケーション能力や問題発見・解決能力の育成を図る。
5. 2年次前期では、応用数学に特化した内容の基礎部分をすべて必修科目とし、応用数学の基礎的な力を幅広く獲得させる。2年次後期では、より進んだ内容を選択必修科目とし、スペシャリストの養成を目指した教育を実施する。さらに、2年次から、多様かつ多数の選択科目を用意し、教育すべき内容の増大および社会の多様な要求に対応する。
6. 3年次、4年次では、自分の得意とする専門分野の理解を深化させ、学問探究の方法をより掘り下げて学ぶために、「卒業研究」等の輪講形式の必修科目において数学的問題解決能力を身に付けさせる。
7. 「一般教養科目」では人間と自然のための科学技術の創造と調和を実現するため、豊かな倫理観、判断力・行動力、キャリア形成、国際性を養う科目を編成する。
8. 英語教育では少人数科目や習熟度別クラス編成し、学習効果を高める主体的な学びを導く。
9. 数学および情報教員を養成するために、きめ細やかな教職課程を編成する。

入学者受入れの方針[アドミッション・ポリシー]

体系的に理解した数学の知識を応用する能力を養成する。その養成に必要な、以下の学力を有する人を、多様な選抜方法により広く求める。

1. 高等学校段階までの学習内容を十分理解しており、特に数学の専門知識や論理的思考方法を身に付けていて、応用数学について高度な専門知識を身に付けようとする意欲のある人。
2. 英語に関しても興味や関心を抱いている人。
3. 入学試験科目に課される科目以外の科目も幅広く学習している人が望ましい。

【入試形態ごとの入学者に求める能力と、その評価方法】

(A 方式入学試験)

幅広い科目に対する基礎知識と思考力、判断力を持つ人を、大学入学共通テストの得点を用いて選抜する。

(B 方式入学試験)

学科の特性に見合う基礎知識とそれを応用する能力及び思考力、判断力を持つ人を、独自の学力試験（数学、英語）の得点を用いて選抜する。

(C 方式入学試験)

理数系科目を中心に幅広い基礎知識と思考力、判断力を持つ人を、本学独自の学力試験（数学、理科）と大学入学共通テスト（国語、外国語）の得点を用いて選抜する。

(グローバル方式入学試験)

本学の特性に見合う基礎知識と思考力、判断力及びコミュニケーションスキルとしての英語力を持つ人を、本学独自の学力試験（数学）と英語の資格・検定試験の成績を用いて選抜する。

(学校推薦型選抜（指定校制）)

高等学校段階までの基礎知識と思考力、判断力、表現力を持ち、自ら学ぶ意欲のある人を、書類審査、面接、口頭試問により選抜する。

(帰国子女入学者選抜、外国人留学生入学試験)

学問に対する姿勢や考え方、海外で身に付けた能力を持ち、自ら学ぶ意欲のある人を、大学入学共通テストの成績、資格・検定試験の成績、小論文、面接等により選抜する。

(学校推薦型選抜(公募制))

高等学校段階までの基礎知識と思考力、判断力、表現力を持ち、自ら学ぶ意欲のある人で本学を第1志望とする人を、書類審査、小論文、面接、口頭試問により選抜する。